

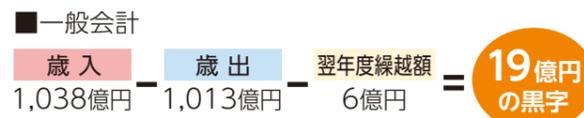
# 税金の有効活用<sub>に努めながら</sub> 安心と

# 魅力<sub>が実感できる</sub> 事業の推進を図りました

平成24年度の決算がまとまりました。今回の特集では、皆さんから納めていただいた税金などの使い道や市の財政状況についてお知らせします。

## 最小の経費で最大の効果を。 効果的かつ効率的に 事業を執行しました

歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を引いた実質収支額は、一般会計が19億円、特別会計全体が40億円、公営企業会計全体が13億円といずれも黒字となりました。



### 事業所税

事業所税とは、人口30万人以上の都市などで、一定規模以上の事業を営む法人や個人事業者の方からいただく税金です。

- 平成24年度の収入 27.8億円
- 使い道 道路、公園、教育文化施設などの都市環境の整備や改善に使われます。

- 〈主な事業〉
- 道路整備 7.1億円 企業活動に寄与する道路や通学路などの整備
  - 小学校整備 4.7億円 河原田小学校の改築工事など
  - 中学校整備 1.9億円 楠中学校・笹川中学校の武道場整備など
  - 防災対策 1.4億円 住宅・建築物の耐震化促進など
  - 保育所整備 1.1億円 公立保育園の改修、私立保育園の新築・大規模修繕に対する補助
  - 公園緑地整備 0.4億円 改良の必要性が高い公園の整備など



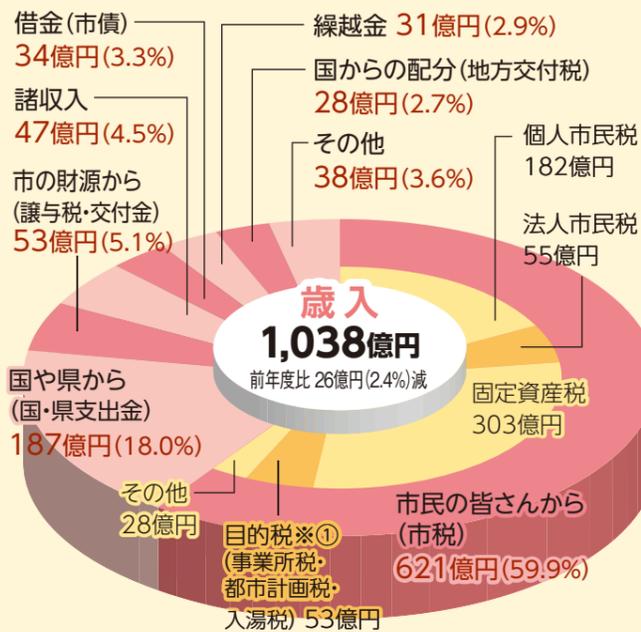
事業所税を活用して整備した河原田小学校

### 一般会計

教育・福祉・土木など、基本的な行政運営の経費を賄う会計です

#### 歳入

子ども手当から児童手当への制度移行に伴い、国からの国庫支出金が減額となったことなどにより、前年度より**26億円(2.4%)の減**となりました。



#### 前年度より増収した主なもの

**市税** 個人市民税の税制改正や納税義務者数が増加したことなどにより、3億円の増

#### 前年度より減収した主なもの

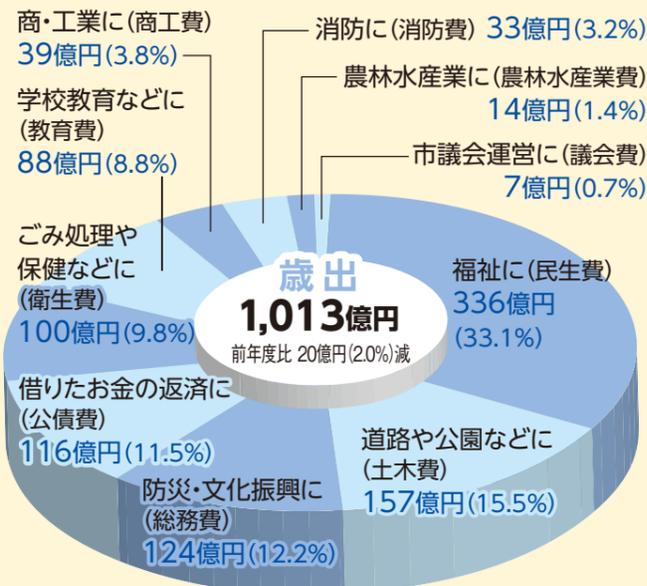
**市債※②** 借入金を抑制したことなどにより、13億円の減  
**国・県支出金** 国庫支出金の減額などにより、7億円の減

※①目的税…特定の経費に充てるためにいただく税金  
 ※②市債…市の借入金

歳入・歳出ともに、前年度より減額となりました。19億円の黒字となりましたが、黒字額は前年度比3億円の減となりました。

#### 歳出

子ども手当・児童手当の減額に加え、病院事業繰出金(出資金)などの減額により、前年度より**20億円(2.0%)の減**となりました。



#### 前年度より増額した主なもの

**商工費** 企業の新たな設備投資を支援する「企業立地奨励金」の交付が増加したことなどにより、5億円の増

#### 前年度より減額した主なもの

**衛生費** 病棟の増築・改修事業の終了に伴う病院事業繰出金(出資金)の減額などにより、7億円の減

(数値は四捨五入のため、合計に差異が生じる場合があります)

### 特別会計

特定の保険料や料金収入によって事業を行うものの会計です。本市では、下記の9事業です

区分	歳入	歳出	一般会計からの繰入金
競輪事業	191億円	183億円	—
国民健康保険	312億円	285億円	15.0億円
食肉センター食肉市場	6億円	6億円	3.8億円
土地区画整理事業	6億円	6億円	5.8億円
住宅新築資金等貸付事業	3千万円	1千万円	—
公共用地取得事業	12億円	12億円	—
農業集落排水事業	4億円	4億円	1.6億円
介護保険	183億円	178億円	25.4億円
後期高齢者医療	48億円	47億円	25.3億円

※競輪事業特別会計からは、一般会計に1億円繰り出され、教育や福祉などの事業に充てられました

#### 歳入

**762億円**[前年度比56億円(8.0%)増]  
 前年度より増収した主なものは、競輪事業の車券売上高など。

#### 歳出

**722億円**[前年度比51億円(7.5%)増]  
 前年度より増額した主なものは、介護保険の保険給付費など。

高齢者数の増加に伴い、医療や介護の給付費が増加しています。

国民健康保険	前年度より4億円の増額
介護保険	前年度より14億円の増額
後期高齢者医療	前年度より4億円の増額

### 財産区

市町村の一部で、財産または公の施設の管理・処分を行うことを認められた特別地方公共団体です

桜財産区管理会が桜財産区にある山林保育などの適切な管理運営を行いました。

区分	歳入	歳出	一般会計からの繰入金
桜財産区	4千万円	2百万円	—

## 公営企業会計

利用料金などの収益で運営する採算性のある事業に適用される会計です

水道、市立四日市病院、下水道、いずれも黒字となりました。

### 水道事業

約14万世帯に給水を行っています。おいしい水を安定して供給するために、基幹施設の耐震化などを行いました。

収益 73億円  
費用 68億円  
**5億円の黒字**

### 市立四日市病院事業

約16万人の入院患者と約40万人の外来患者を受け入れました。療養環境の向上と質の高い医療を提供するために、病棟増築・既設改修工事を行いました。

収益 178億円  
費用 175億円  
**3億円の黒字**

### 下水道事業

生活環境の向上を目指し、汚水・雨水の管路や施設の建設・更新・維持管理を進め、下水道普及率は72.2%に、雨水整備率は49.9%になりました。

収益 105億円  
費用 100億円  
**5億円の黒字**

# 本市の財政状況

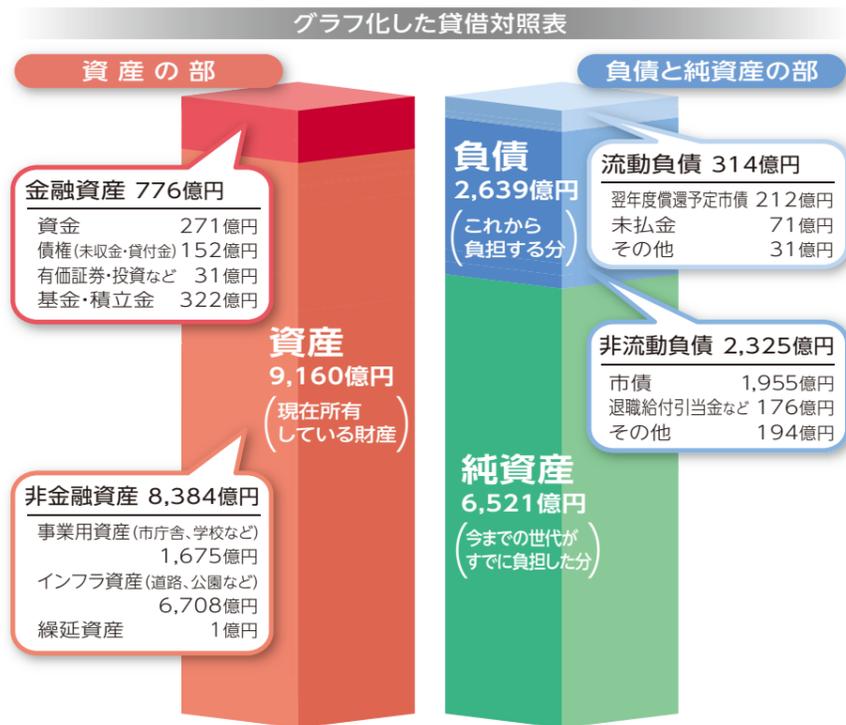
## 市の資産と負債

平成24年度末時点で、本市にどれだけの資産と負債、また資産から負債を差し引いた純資産があるか表した、「貸借対照表」※③があります。ここでは、「貸借対照表」を通し、市の資産と負債の状況をお知らせします。

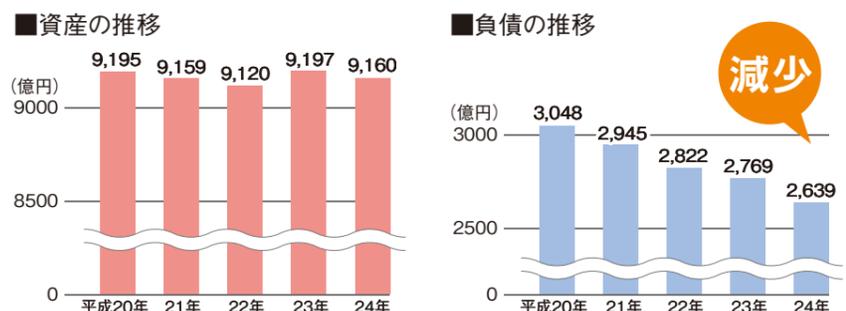
※③対象となる会計は、一般会計、特別会計、公営企業会計、一部事務組合、公社などの関連団体を含めた連結の会計です

## 着実に負債を減らしており、財政の健全化が進んでいます

資産は、固定資産(土地)の評価見直しや減価償却などにより、前年度より37億円の減となりました。負債は、市債発行の抑制などにより、前年度より130億円の減となりました。合わせて純資産としては、前年度より93億円増加し、市の財政の健全化が進んでいます。



**負債は順調に減少しています** 市の借金である市債など、これからの世代が負担していかなければならない本市の負債は、着実に減少しています。



## 財政の健全化

地方公共団体の財政状況が健全かどうか、客観的に判断する4つの指標として、「健全化判断比率」があります。ここでは、4つの指標から、本市の財政状況を紹介します。

## いずれも基準範囲内、前年度より改善。さらなる健全化の推進を

いずれも国が危険であると定める基準の比率より大きく下回っているものの、借金の返済額や残高に関する比率が、全国の市区町村の平均よりも高い状態です。

前年度より改善していますが、今後も、効果的かつ効率的な市債の発行に努め、さらなる財政健全化を進めていく必要があります。

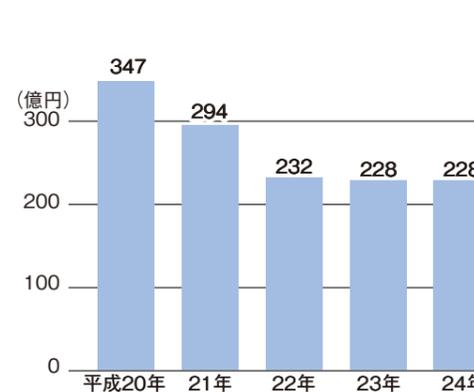
指標	内容	四日市市
実質赤字比率	標準財政規模※④に対する一般会計などの赤字の割合	<b>赤字なし (0%)</b>
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合	<b>赤字なし (0%)</b>
実質公債費比率	標準財政規模に対する1年間に返済する借金の割合(市区町村平均9.2%※⑤)	<b>13.7%</b> (前年度14.7%)
将来負担比率	標準財政規模に対する将来に負担が見込まれる負債の割合(市区町村平均60.0%※⑥)	<b>66.0%</b> (前年度89.0%)

※④標準財政規模…地方自治体の標準的な状態で通常収入が見込まれる額  
 ※⑤、⑥全国の市区町村の平均値は、総務省発表の速報値に基づいており、今後変動する場合があります

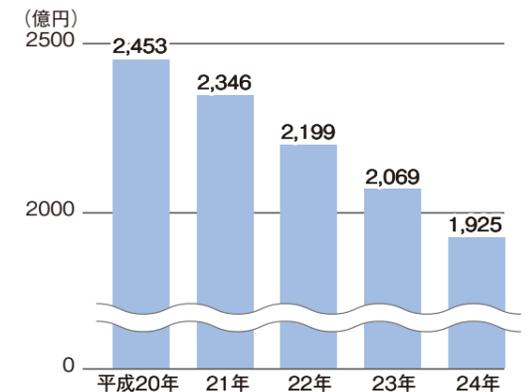
**前年度より改善**

## 公債費・将来負担額とも軽減に努めています

■公債費の推移(全会計)



■将来負担額の推移(全会計に土地開発公社や第三セクターを含む)



## 将来を見据えた効果的・効率的な財政運営を

市では、それぞれの会計年度で決算をまとめ、分析し、それらを踏まえて予算を立てています。それぞれの会計年度ごとに事業を評価し、見直すことで、効果的な事業運営を行っています。今後とも厳しい目で、将来を見据えた財政運営に努めていきます。

# 平成24年度実施事業

## 目指す都市像 「みんなが誇りを持てるまち四日市」の実現に向けて、「第1次推進計画」に基づき、着実に事業を推進しています

本市は、今後10年間のまちづくりの方向性を定める「四日市市総合計画(平成23～32年度)」に基づき、「安心、元気・魅力、絆のあるまち」を目指して、さまざまな取り組みを進めています。

具体的には、総合計画に定める5つの基本目標に応じて、「第1次推進計画(平成23～25年度)」を策定し、重点的に財源を配分することで、効果的に事業を推進しています。

ここでは、基本目標ごとに、計画の2年目である平成24年度に実施した事業の成果の一部を紹介するとともに、主要な事業として、決算額の大きい上位5事業を示します。

### 基本目標1 「都市と環境が調和するまち」を目指して…

決算額 71億円

上下水道や新総合ごみ処理施設の整備など、環境に配慮しながら都市を維持・管理する事業を推進。

#### 事業ピックアップ 新総合ごみ処理施設整備事業 6億5,350万円

新しいごみ処理施設の建設を進めています!

老朽化が進む北部清掃工場に代わる新たな焼却施設と、粗大ごみ・不燃ごみの処理施設からなる「新総合ごみ処理施設」の建設を進めています。

もやさないごみが処理できるようになるなど、ごみ処理の流れが変わります。



完成予想図

決算額の大きい5事業	決算額(百万円)
1 公共下水道事業(汚水)	3,446
2 水道整備事業	1,701
3 新総合ごみ処理施設整備事業	654
4 拠点駅周辺整備事業	264
5 南部埋立処分場延命化対策事業	196

### 基本目標2 「いきいきと働ける集いと交流のあるまち」を目指して…

決算額 10億円

企業立地への支援や観光推進、買い物拠点の再生など、四日市の魅力を高める事業を推進。

#### 事業ピックアップ 企業立地奨励金交付事業 8億7,472万円

半導体関連工場の新棟や中小企業の新たな投資など、57件の事業に対して交付を行いました。事業所の新增設は、産業の活性化と税収の拡大、雇用の維持につながります。



半導体製造工場

決算額の大きい5事業	決算額(百万円)
1 企業立地奨励金交付事業	875
2 観光推進事業	32
3 買い物拠点再生事業	12
4 臨海部工業地帯有効活用事業	10
5 中小企業新規産業創出事業	7

### 基本目標3 「誰もが自由に移動しやすい安全に暮らせるまち」を目指して… 決算額 44億円

道路・橋梁の整備や消防・救急・防災の強化など、安全に生活できるよう事業を推進。

#### 事業ピックアップ 避難施設等整備事業 1億422万円

小・中学校における避難施設整備を進めています!

津波による被害が想定され、避難所としての機能の充実を図る必要がある学校について、屋外階段・屋上手すりや自家発電設備の設置、校舎上層階における備蓄倉庫の工事に着手しました。



平成24年度は6校の工事に着手しました(写真は塩浜小学校)

決算額の大きい5事業	決算額(百万円)
1 総合治水対策推進事業	1,863
2 道路橋梁整備事業	1,005
3 公共施設ストックマネジメント事業	318
4 一般住宅耐震化推進事業	313
5 消防力・救急体制強化事業	170

### 基本目標4 「市民が支えあい健康で自分らしく暮らせるまち」を目指して… 決算額 39億円

市立四日市病院の整備や小学校修了前までの医療費助成など、安心して自分らしく生活できるよう事業を推進。

#### 事業ピックアップ 病棟増築・既設改修事業 17億2,756万円

市立四日市病院の外来化学療法室を整備しました!

自宅で生活を送りながら、通院により快適に安心して医療を受けることができるよう、外来患者用の化学療法室を整備しました。



点滴用ベッド11床とリクライニングチェア3床があります。

明るいスペースでリラックスできます

決算額の大きい5事業	決算額(百万円)
1 病棟増築・既設改修事業	1,728
2 子育て関係医療費助成	763
3 医療機器整備事業	318
4 特別保育拡充事業	228
5 学童保育推進事業	210

### 基本目標5 「心豊かな“よっかいち人”を育むまち」を目指して… 決算額 13億円

校舎改築や学校教育における相談体制の強化など、未来を担う子どもたちへの事業を推進。

#### 事業ピックアップ 少人数学級拡充事業 1億8,972万円

小・中学校1年生の30人学級編制など、きめ細かい教育を!

小・中学校に進学することによる環境変化にきめ細かく対応するため、30人学級制を公立小・中学校1年生で実施しています。



そのための常勤講師の配置を行うとともに、基礎学力向上などの課題解決のため、非常勤講師の配置も行いました。

少人数学級で、学習効果の向上がみられました

決算額の大きい5事業	決算額(百万円)
1 校舎改築事業	304
2 少人数学級拡充事業	190
3 途切れない指導・支援事業	171
4 武道場建設事業	133
5 大規模改修事業	121

特集を終えて

細かい数字や難しい言葉が多い決算の特集を、少しでも読みやすくするために、表やグラフを多く使うことを心掛けました。この特集が、市の財政状況や実施事業、さらにはまちづくりに興味を持っていただくきっかけとなればと思います。(財政経営課 一川、広報広聴課 塚原)